



緑の風



3年生スキー教室

学校教育目標「夢に向かって 心豊かに たくましく生きる子ども」
 ~“自分で考え みんなと創る” 楽しい ふるさとの学校~

保健・健康特集

節分です。少しずつ春らしい日も多くなりました。それでも、最低気温はまだまだ低く、子どもたちは登校すると、手足や耳が冷たくて大変そうです。最近、学校では、子どもたちの体のことについて話し合ったり、考えたりする機会がたくさんありましたので、まとめてお知らせします。

学校保健委員会

学校医や薬剤師の方々と、学校の保健・体育関係の職員、PTAの役員の方々による、総勢17名の、年に1度の会議です。

学校からは、子どもたちの健康診断の結果や体力テストの結果を踏まえた、今年度の学校の取組について報告し、学校医等の皆様や保護者の皆様からご意見やご質問をいただく形で協議が行われました。

やはり今年は、昨年のこの会では話題にならなかった、新型コロナウイルス感染症が中心となりました。その中でご指導いただいたことなどの概要をお知らせします。

- 食育の取組が大変素晴らしい。(柳田先生)
- 心と体のアンケートが素晴らしい。(川久保先生)
- コロナ対応等、先生方には丁寧に指導してもらって感謝している。(PTA役員)
- ▲「歯科」では、虫歯が多い子どもが多い。学校から受診を勧めても治療していない子どもが多い。
- ▲「視力」では、裸眼視力1.0以下の子どもが、学年が上がると増えている。メディアとの上手な付き合い方に課題が見られる。学校のルールへの向き合い方に課題。
- ▲コロナ対応では、マスクの着用について、まだ身に付いていない子どもが見られる。学級内の規範の徹底と、家庭における指導の徹底が必要。
- ▲「体力テスト」では、全体的には良好。学年によっては、体の柔軟性を示す「上体起こし」と「50メートル走」に課題。日常の学校と家庭での体力づくりにおいても、ワン・アクションが求められる。

柳田弘人 学校医から

※コロナ感染症対策を中心として



- ・感染の半分以上は無症状。このウイルスは発症の1日前に1番感染する。
- ・コロナは小学生の感染は、75%が家庭内感染、校内感染は2%。
- ・コロナ対策として ①1時間に5分の換気 ②湿度50%~60%を保つ ③手洗いの徹底(鼻をかんだ後も) ④消毒はトイレやスマホを重点的に

川久保憲 薬剤師から

- ・一般的なマスクは、50%程度はウイルスが漏れる。フェイスシールドは意味が無いとまでいわれている。
- ・換気は、対角線上の窓を20cmずつ開ける。サーキュレーターも有効。横堀小の二酸化炭素濃度は極めて良好。空気がきれいである。



PTA役員の皆さんから

- ・学校からの再検査の依頼を家庭はもっと重視していくべき。将来に関わる。
- ・コロナ対応で、家族の県外出張や体調も学校で把握する必要がある。
- ・県外出張後の、家庭内での感染防止対策も難しい。
- ・自粛期間にもゲーム時間が増えた。遠くを見るなどの視力回復も大切。
- ・学校では、健康面でも実体験的な見える活動を大切にしてほしい。
- ・ひびあれの子には、ハンドクリームの持参を認めてほしい。

6年生・薬物乱用防止教室



～薬剤師の川久保憲先生による 出前授業～

たばこや酒などの健康被害や、若者に広がる違法薬物のこわさについて実際のデータや事例を基にして、切実感あふれる授業をしてくださいました。感想を二つ紹介します。

大澤令奈さん・タバコやお酒もちょっとした薬物と聞いてびっくりしました。他人をだまして、薬物をあげる人もいて、残念だなあと思いました。
鈴木結衣さん・いい薬や危険な薬、七つの約束を知れて、とてもよかったです。危険な薬物に気を付けたいです。



5年生・ちょこっと参観「メディアとの上手な付き合い方」

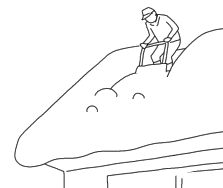


担任の佐々木淳美先生と養護教諭の千葉美侑先生という本校の若手二人による特別活動の授業。冬の先生方による授業研究会のフィナーレに、普段はあまり授業をしない、保健室の千葉先生もチャレンジしました。

さすがが体育会系コンビは、熱心に授業づくりに取り組んで、テンポよく授業を進めるので、子どもたちの聞く目も真剣そのものでした。そして、先生が笑顔で明るく元気に授業する姿は、子どもにも明るく学ぶことの楽しさを伝えます。見ていて、とってもすがすがしい気分になりました。

子どもたちは、家庭でのメディア利用の現状を捉え直し、自分にふさわしい「スイッチオフ作戦」を決めました。これから5日間、自分で決めたルールを自分で守ることとなります。5年生だけではなく、メディアルールを決めて、それを家族で守ることは、今や、日本中の家庭にとって最優先で最重要な「しつけ」ですね。

全校・冬の積雪避難訓練



先日のシェイクアウト訓練に続いて、今度は積雪時の避難訓練を実施しました。スキーなどの楽しい雪と共に、「すべる・落ちる・見えない」などの雪のこわさを話しながら、積雪で普段の非常口が「にげられない」場所になることについて学びました。休み時間の実施で、校長室にいる子どももや、体育館で遊んでいる人たちのたくさんいました。

それでも、放送をしっかりと聞いて行動できる力は見事でした。課題としては「最後まで話を聞くこと」や、「人まねじゃなく、自分で考えて動く」あたりです。

防災教育の中で、目指す行動の基準を子どもたちに話しました。普段の家庭生活の中でも育んでいきたい力の一つです。学校と家庭との、“全集中コラボ”で身に付けさせたい人間力の指針でもあります。

1. 2年生・・・ やくそくをまもる おとなのいうことをきく
3. 4年生・・・ 自分で考えて行動できる
5. 6年生・・・ 弱い立場の人を助ける



冬の体力づくり

スキー教室も おかげさまで、順調に楽しんでいきます！

先週の下学年の大台スキー場、今日からの上学年のたざわ湖スキー場と、スキー運搬や指導には、のべ50名もの保護者の皆さんが協力してくれます。PTA会員数が83ですので、こんなにも多くのご支援に改めて感謝申し上げます。

この他に保呂羽山少年自然の家の職員、仙北スキークラブの方々、スキー場のスキースクールの指導員の方々からもご協力をいただいております。

子どもたちの“楽しい”学習や“笑顔”のために、本当にありがとうございます。



朝の学校到着時刻・7時40分～
朝の車の乗り入れ禁止

だいぶ守られてきています。
もう少し、ご理解とご協力がほしいです。